

2011年9月12日

報道各位

日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合
(CDV-JAPAN)

北朝鮮による日本人拉致問題啓発DVD 第二弾キャンペーン

『拉致 私たちは何故、気付かなかったのか!』

9月26日より、全国で一斉レンタルスタート!!

北朝鮮による日本人拉致問題啓発DVD 第二弾『拉致 私たちは何故、気付かなかったのか!』がTSUTAYA、ゲオなど全国のビデオレンタル店で、9月26日より無料レンタルされることになりました。併せて、2008年に日本政府が制作した第一弾DVDアニメ『めぐみ』とともに第二弾キャンペーンとして取り組んで参ります。

我が国の映像レンタル人口は、最盛期(昭和30年代初期)の映画人口に匹敵する11億人と推定されます。その分、アニメ『めぐみ』で十分な貢献をしたとは言いきれない思いが残ります。一方、2002年10月に被害者5人が帰国して以来、拉致問題は一向に進展しておりません。救出を呼び掛ける家族の老いは着実に進んでいます。

そこで再度、レンタル店のネットワークを活かして国民に拉致問題の重要性を広く訴え、解決に向けては何より、救出に向けた国民の弛まぬ気持と支援こそが最大・最速の原動力であることを示したいと考えました。

なお、各地のビデオレンタル店での店頭展開の様子なども、あわせてご取材頂きますと幸いです。下記お問い合わせ先のCDV-JAPAN事務局にて、取材可能な店舗をお知らせさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

■第二弾キャンペーンでレンタルするDVD

『拉致 私たちは何故、気付かなかったのか!』

製作:『拉致 私たちは何故、気付かなかったのか!』製作委員会
(代表幹事:日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合)
脚本:山田耕大 監督:大屋龍二 プロデューサー:平田樹彦
ラインプロデューサー:森角威之 素材提供:稲川和男

協力:北朝鮮による拉致被害者家族連絡会
北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会
特定失踪者問題調査会
後援:政府 拉致問題対策本部

アニメ『めぐみ』

企画・制作:政府 拉致問題対策本部
文部科学省選定作品



【本件に関するお問い合わせ先】

日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合(CDV-JAPAN)
姫野・村山 TEL: (03) 3234-8824 メール: info@cdv-j.or.jp
URL <http://cdvnet.jp>

拉致問題啓発DVD第一弾 アニメ『めぐみ』への店頭での取り組み実績

■店頭展開に至った経緯

2008年春、北朝鮮による日本人拉致問題の啓発活動の一環として、アニメDVD「めぐみ」が政府にて制作された。政府からの要請を受けたCDV-JAPANでは、レンタル業界として社会に貢献できる良い機会であるの結論に至り全店に協力を呼び掛けた。2008年9月から全国のビデオレンタル店で一斉に貸し出しを行い、この3年間で約15万人のレンタルユーザーに視聴された。

■店頭での展開状況

- ・国内の全レンタル店(5000店)にDVD3枚とPOPを無償配布。また併せて、CDV-JAPANのホームページにおいても追加のPOPや写真素材を公開し、ダウンロードによって各店それぞれのPOPが作成出来るようになった。
- ・店頭では無料で1週間レンタルとして貸出を行った。
- ・各レンタル店においては、これらDVDとPOPを陳列し展開するなど、それぞれの工夫において本DVDの訴求に努めた。

店頭展開の様子



○店舗スタッフの声

- ・拉致問題をもっと色々な人に知ってもらい、考えてもらうという主旨に共鳴し貸し出しをしていました。実際に様々な方にレンタルして頂きました。
- ・アニメだったということで、多くの方にご覧頂けたのではないかと思います。特に、アニメということもあって低学年のお子様にも関心が持って頂けたように思えます。
- ・まず大事な事は興味を持って頂くこと、そしてそれに対しどう感じたかということのを少しでも考えるという事だと思います。今回の取り組みは、そのきっかけ作りになったと思います。
- ・意義のある内容で、多くの方に鑑賞可能な無料レンタルといった形は良かったと考えます。
- ・今後もこの問題が風化してしまわないよう、継続した支援活動が必要と思います。

拉致問題啓発DVD第二弾 『拉致 何故私たちは、気付かなかったのか!』への店頭での取り組み

店頭展開用のPOP

第二弾キャンペーン作成した専用POPを全店に配布して、店頭での貸出を促進



店頭展開のイメージ

POPや作品コメントカードを使って、店頭展開した際の陳列棚のイメージ



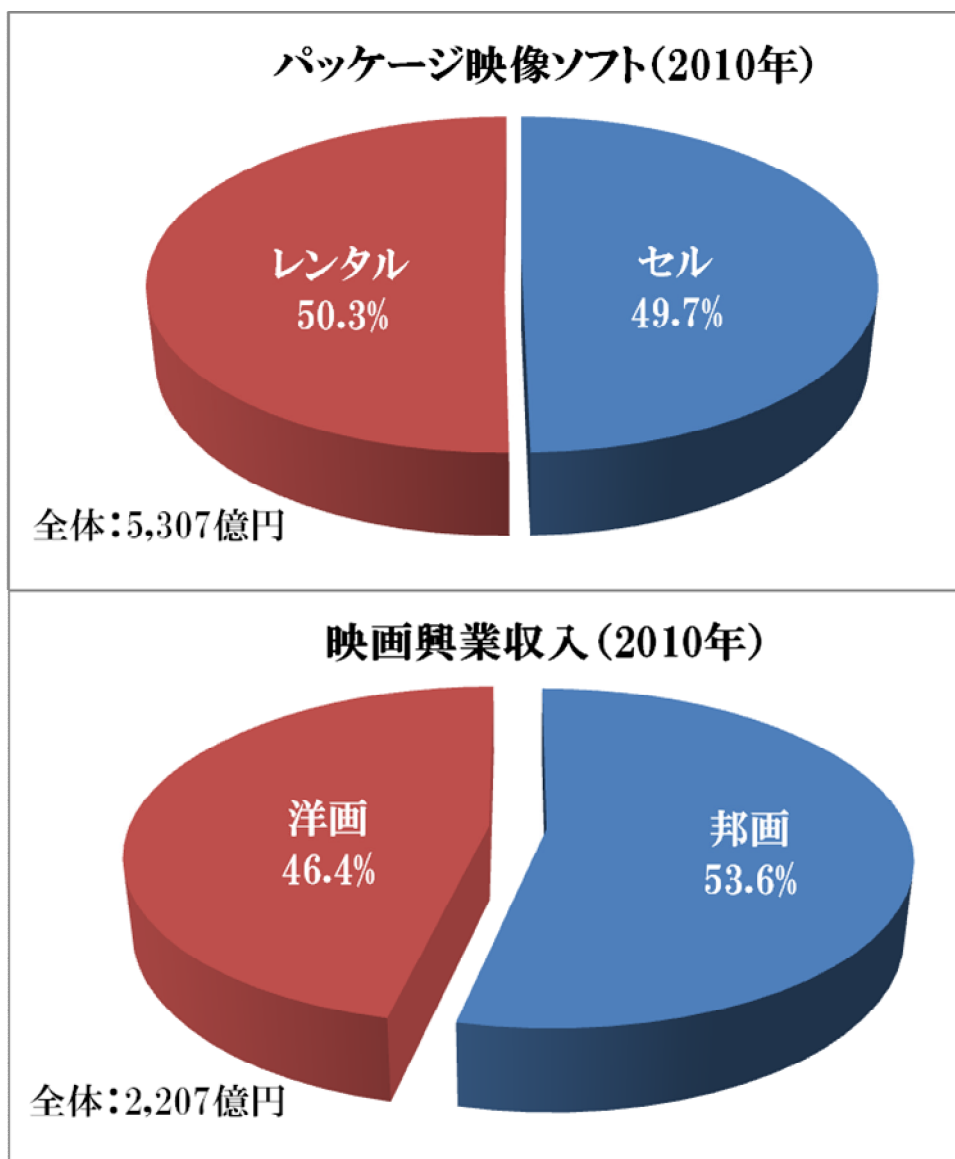
「拉致 私たちは何故、気付かなかったのか！」に寄せられた 全国のビデオレンタル店・スタッフの声

- ・アニメ『めぐみ』の時は、当店でも多くの方に興味を持って頂けました。正直、普段の生活の中では、こういった類のことに想いをめぐらせる瞬間ってなかなかないんですよ。そういう意味で、自戒の意味も含め、この問題は風化させてはならないと強く思いました。そのためにも多くの人にとにかく観てもらいたい。そして興味を抱いてほしい。それが我々ビデオレンタルショップに出来るまず第一歩だと思います。
- ・「何故、私達皆が自分達の共同社会の出来事として、この人々の不在をもっと強く意識し続けることが出来なかったか…」最後のこの言葉がすごく心に響きました。拉致被害者を救うことができる唯一の方法は、国民皆が興味を持ち、声をあげ、絶対に許さないという強い思いを持つということです。このDVDを通して、少しでも興味をもってもらいたい。そして、一刻も早く、被害者の方が日本に帰れるように願っています。
- ・日々、私たちの生活の中で、この拉致問題は忘れ去られていく傾向にあります。決して、その様な事の無いように一人一人が向き合っていくことが大切です。「自分には関係ない」という気持ちを持たない、持たせない為にも、拉致について知っておくことの重要さに気づきました。また、拉致問題を風化させない様、全世代の方にこのDVDを観て欲しい。
- ・「めぐみちゃん、今日も元気になっていますか？」と語りかける横田めぐみさんの母・早紀江さんの言葉が、34年間娘を待ち続ける母の優しさと解決しない現実への厳しさを感じました。ある日突然、家族がいなくなってしまうたら。しかもそれがどこか遠くへ連れ去られて声を聞くことも姿を見ることも叶わなくなってしまったら。日本で起きたまだ解決していない実際の出来事として、本当に強く意識しておくべき問題だと思いました。
- ・この作品を観て感じた事は、現在進行形で闘っている被害者の方々の苦悩と、無関心という事がどれだけ虚しい結果をもたらすのかという思いでした。一個人が国際問題を解決させる事は不可能であっても、多くの人々の働きかけによって解決させる事は出来ると思います。私自身もまずは興味を向け、少しでも協力できればと、その為には自分だけじゃなく周りの人達にも興味を向けてもらえるよう働きかける事が必要だと思います。
- ・この拉致問題、一部の拉致被害者の方々の帰国から進展がないまま、もう9年になる。日本で起こった日本人の悲しい出来事を知って下さい。そして興味を持って下さい。自分自身、家族、周囲の人、世の中にもっともっと興味を持とう。そう思いました。
- ・正直、忘れていた拉致問題、こんなにも残酷な状況に驚きました。もう、35年も経っていた事にも驚きました。今の不安定な日本に、最も解決しなくてはならない、問題の一つとして再確認させられる作品だと思います。
- ・1964年生まれの方々、青春時代に親しんだエンターテインメントは何でしたか？ サザンオールスターズ？機動戦士ガンダム？スターウォーズ？それとも村上春樹？人によって様々でしょうが、どれも懐かしい思い出です。しかし私たちと同一年の横田めぐみさんは中学1年生だった1977年10月に北朝鮮に拉致されました。めぐみさんは私たちと同じようにあの時代を楽しむことが出来なかったのです。それを想うと胸が痛み、怒りを覚えます。そして今、1964年生まれの人間はめぐみさんのご両親の当時の年齢になり、めぐみさんと同じ年の子供を持つ身になりました。もし自分の子供がめぐみさんと同じ目にあつたらと想像してください。私たちがめぐみさんたち拉致被害者への興味を失ってしまったら、同じようなことが再び起こるかもしれません。だから絶対に事件を風化させてはいけないと思うのです。

■ DVDレンタル市場について

年間延べ11億人もの人がレンタルを通じて映画を鑑賞しています。

□ わが国の映像ソフト市場



□ 日米の映画産業(2010年)

	日本	米国
人口	1億2,805万人	3億875万人
年間の劇場動員数	1億7,435万人	13億4,000万人
1人当たり年間平均鑑賞回数	1.36回	4.34回
平均入場料金	1,266円	631円
スクリーン数	3,412	39,547
興行収入	2,207億円	10,600億円
公開本数	716本	560本

(1ドル=80円で算出)

* 出典:キネ旬総研白書「映画ビジネスデータブック 2011-2012」

■日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合(CDV-JAPAN)について

名称：日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合

Compact Disc & Video Rental Commerce Trade Association of Japan (通称:CDV-JAPAN)

認可：1984年3月(日本レコードレンタル商業組合)

1994年8月(日本コンパクトディスクレンタル商業組合)

1998年6月(日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合)

所轄：経済産業省商務情報政策局 文化関連産業課

組合員資格：CDレンタル業及びビデオレンタル業を営む者

組合員数：590名(2011年8月末現在)

店舗数：3271店舗(2011年8月末現在) *『拉致〜』は、CDVJ加盟店を含む約4000店に配布。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7 半蔵門村山ビル3F

TEL:03-3234-8824 FAX:03-3234-8859

役員構成：理事長 世良 與志雄

副理事長 梶 喜代三郎

副理事長 鈴木 健治

専務理事 若松 修

理事 19名

監事 1名

CDVJがこれまで取り組んできた社会貢献プロジェクトのDVD



北朝鮮拉致問題
アニメ『めぐみ』
(2008年)



裁判員制度
『裁判員制度～もしもあなたが選ばれたなら～』
『総務部総務課 判員制度プロジェクトはじめます!』
(2009年)



暴力団追放
『許されざる者』
(2010年)



献血推進
『八月の二重奏』
(2010年)